

科目ナンバリング：UTL-3-201-03

### ■授業の目的及び到達目標

本講座は、商業科の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容の体系的な理解と様々な学習指導理論を深化させ、必要に応じて ICT 機器を活用し、授業場面で役立つ「わかる」授業設計の方法を身に付けることを目的とする。さらには、学校現場で活躍する商業科教員と遜色のない、能力と態度を身に付けることを到達目標とする。

### ■授業計画

#### 〔前期〕

- 1 ガイダンス、商業教育の歴史と変遷(1)  
明治以降の商業教育の歴史と、経済発展との関連性を概観し理解する。
- 2 商業教育の歴史と変遷(2)  
現行の学習指導要領にいたる商業科目の変遷を辿り、商業教育の不易と流行を考察する。
- 3 商業教育の歴史と変遷(3)  
現行と新学習指導要領の相違点、求められる商業教育像について学修する。
- 4 各科目の目標と内容の構成及び取り扱い等  
各分野の商業科目の目標と、内容の構成及び取り扱い等について概観し理解する。
- 5 商品開発 学習指導案の作成方法(1)  
具体的な授業を想定した授業設計を立て、学習指導案を作成する。
- 6 商品開発 学習指導案の作成方法(2)  
授業の組み立てに役立つ、発問例と板書例を時系列で一覧できるように作成する。
- 7 商品開発 模擬授業(1)  
模擬授業を通して、高校生の認識や思考、学力に合致した授業について理解する。
- 8 商品開発 模擬授業(2)  
模擬授業を通して、視覚に訴求した教材の活用の効果を理解する。
- 9 商品開発 模擬授業(3)  
模擬授業を通して、振り返りによる授業改善の重要性を理解する。
- 10 ビジネス基礎 学習指導案の作成方法(1)  
予習と教材研究の違いを再認識して、学習指導案を作成する。
- 11 ビジネス基礎 学習指導案の作成方法(2)  
わかる授業を創出できるように、授業場面を想定した発問例と板書例を作成する。
- 12 ビジネス基礎 模擬授業(1)  
模擬授業を通して、単元の観点別評価に則した内容になっているかを考察する。
- 13 ビジネス基礎 模擬授業(2)  
模擬授業を通して、学習指導案での想定との相違の原因を討議し考察する。
- 14 ビジネス基礎 模擬授業(3)  
模擬授業を通して、教材の活用が適切であったかを討議し、授業改善に役立てる。
- 15 試験及びフィードバックとしての解説  
試験を行い、そのフィードバックとして商業教育の歴史と変遷や体系などについて解説し、前期の講義内容を振り返る。

#### 〔後期〕

- 1 マーケティング 学習指導案の作成方法(1)  
ICT 機器の活用を前提にして、学習指導案を作成する。
- 2 マーケティング 学習指導案の作成方法(2)  
授業展開を意識しながら、発問例と授業プリントを作成する。
- 3 マーケティング 模擬授業(1)  
模擬授業を通して、効果的な ICT 機器の活用と授業の質の向上の関係を考察する。
- 4 マーケティング 模擬授業(2)  
模擬授業を通して、他の受講者から学びコンピテンシーを見極める。
- 5 マーケティング 模擬授業(3)  
模擬授業を通して、ICT 機器の活用がどのような学習内容の理解につながったのかを考察する。
- 6 マーケティング 模擬授業(4)  
模擬授業を通して、その授業を振り返り、次の授業計画に向け改善点を洗い出す。
- 7 簿記 学習指導案の作成方法(1)  
ICT 機器を活用して授業の質を向上させ、学習指導案を作成する。
- 8 簿記 学習指導案の作成方法(2)  
知識と技術が定着できるように、発問例と授業プリントを作成する。
- 9 簿記 模擬授業(1)  
模擬授業を通して、ICT 機器の活用がどのような効率性を高めるかを考察する。
- 10 簿記 模擬授業(2)  
模擬授業を通して、知識と技術のバランスに配慮した授業の在り方について考察する。
- 11 簿記 模擬授業(3)  
模擬授業を通して、学習量と時間配分を意識した授業の在り方について考察する。
- 12 簿記 模擬授業(4)  
模擬授業を通して、周到な教材研究と授業の質との関係を考察する。
- 13 商業科の学習評価  
観点別評価の意義と方法、考査の作成方法などを確認する。
- 14 商業科の発展的な学習  
発展的な学習の在り方を探求しつつ、学習指導要領との関連を考察する。
- 15 試験及びフィードバックとしての解説  
試験を行い、そのフィードバックとして商業教育の体系や意義などについて解説し、後期の講義内容を振り返る。

### ■授業の方法

知識として伝えるべき内容は講義形式をとるが、模擬授業では、それに先立つ学習指導案や発問例・板書例、授業プリントを作成させ、「わかる」授業をするための改善点を明らかにし、自己評価と受講者間の討議を行う。

### ■予習・復習

予習では、「わかる」授業を展開するために、徹底した教材研究と学習指導案の作成を求める。また、復習では、模擬授業を体験する中で理解できたこと、気付いたことをまとめる。

### ■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

自らの模擬授業の態度や他人の模擬授業への意見発表など授業貢献度 20%、課題（学習指導案、板書例と発問例、ICT 機器を使用した場合は授業プリント、自己評価票）50%、試験 30%で評価する。

### ■教科書・参考書

教科書：文部科学省「高等学校学習指導要領解説 商業編（平成 30 年度 7 月告示）」、「商業科教育論」（実教出版、2019 年）、文部科学省検定済みの高等学校商業科教科書

### ■関連する科目

本講座は、商業科教員免許状取得のための必修科目である。他の教職課程の科目同様、確実な修得が望まれる。

### ■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

埼玉県公立高校で 29 年間にわたり教員を務めた。